

農園通信

2013年12月15日発行

晩秋の収穫



11月～12月初旬が一番の収穫シーズンです。サツマイモに続いてサトイモ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリーニンジンやそのほか葉ものいろいろ…。

今年は11月4日に初霜が降り、バジルが一気に霜枯れして茶色になりました。その後、日に日に気温が下がってきましたが、耐寒性のある野菜にはなんのその。12月の半ばまではダイコンの葉も青々しています。秋冬野菜は時間をかけて生育するので夏場に比べて収穫もゆったり楽しむことができます。ダイコン組の学生さんは自分で育てた4品種2本ずつ計8本のダイコンを毎週1, 2本ずつ収穫していきます。

それからこの時期は「かつら剥き」の練習をするためにダイコンをもらいにくる学生さんがいます。なので毎年青首ダイコンは多めに栽培するようにしています。



10月に収穫して乾燥させたアズキを
莢から取り出す様子→
養護の学生さんがひと粒ひと粒
手作業で行いました。



- ①板垣ダイコン…福井県の伝統野菜
- ②太白…秩父地方のサツマイモ
- ③ラズベリー…たわわに実りました
- ④サフラン…今年はこれだけ～

「獅子ゆず」が人気



←11月初旬は
まだ緑色

4年ほど前に『獅子ゆず』の木を植えました。別名『鬼ゆず』ともいいます。

ミカン科ミカン属で分類上は文旦(ブンタン)の仲間なので柚子ほど香りは強くありませんが、皮はマーマレードなどに加工できます。

去年から実が多く成り始めて今年は30個近く収穫できました。1玉ハンドボールくらいの大きさで、ゴツゴツしています。

一般的には観賞用に使われるそうで、今年は坂戸キャンパス内に飾っていただいたところ大好評！なんといってもひとつ置いておくだけですごい存在感ですから。これからは栄大のお正月飾りの定番にして頂けるといいな～

学生さんには飾るよりジャムにしたほうが魅力的のようですが…。